

教室通信

教室におけるダイバーシティと入試

電気電子工学科 学科長 下 田 宏

京都大学はご存じの通り、創立以来築いてきた自由の学風を継承し発展させつつ、多角的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献することを目標としています。そのためにも重要なキーワードはダイバーシティ（多様性）です。すなわち、多様な視点を取り入れることで、望ましい教育環境の構築と研究の質向上を目指します。本稿では、近年の電気電子工学科のダイバーシティ向上に向けて多様化している入試について、2月実施の一般入試以外のものを紹介いたします。

特色入試（総合型・学校推薦型選抜）

特色入試は従来の学力試験だけでは測れない多様な能力や意欲を持つ学生を選抜するために導入している入試制度であり、一般入試と異なる高校推薦型入試で、社会活動や課外活動での実績、学習意欲、基礎学力などを総合的に評価し、可否を決定するものです。特に令和8年度からはさらなるダイバーシティ向上のため7名の「女性募集枠」を設けています。これにより、電気電子工学に強い興味と旺盛な探究心を持ち、高い基礎学力と論理的思考力、リーダーシップや創造性を備えた女性の入学を促そうとしています。また、8月に開催されるオープンキャンパス参加申し込みにも女性専用枠を設けて、興味を持つ女子高校生の受験を促しています。

私費外国人留学生特別選考

私費外国人留学生特別選考（留学生入試）は、外国人の留学生のための入試制度であり、一般入試以外に留学生が受験できるものです。合格した留学生は入学後に一般入試で合格した日本人学生と一緒に日本語で授業を受けるもので、多様な国際的背景や視点を持つ優秀な学生を受け入れ、学部教育・研究の国際化と活性化を図ることを目的としています。

高専編入学試験

高専編入学試験は、高等専門学校（高専）卒業（見込み）者を対象とした入試制度であり、高等専門学校で培われた専門的知識や技術、実践的な能力を持つ学生を2年次に受け入れ、学部の多様性や専門性を高めることを目的としています。入試では、数学・物理・化学・英語などの基礎学力と、口頭試問での専門的知識や志望動機を総合的に評価し、大学での学びに十分対応できる力を持つ学生を選抜しています。

Kyoto iUP

Kyoto iUP（Kyoto University International Undergraduate Program）は、全学的に実施されている国際学士課程プログラムで、優秀な留学生を対象にした特別な入試・教育制度です。入学時点で日本語能力は問われませんが、入学決定後に徹底した日本語教育を受けます。最初の2年半は英語と日本語の両方で基礎科目を履修して日本語能力を高め、後半の2年間は日本語で専門教育を受けます。これも上記の留学生入試と同様に、多様な国際的背景や視点を持つ優秀な学生を受け入れるものです。

電気電子工学科では上記のような多様な入試制度により、これまで以上に様々なバックグラウンドを持つ学生が電気電子工学科を卒業し、社会で活躍していくものと思います。皆様のご支援を引き続きどうぞよろしくお願いいたします。